

新型コロナウイルス感染拡大予防のための協力をお願い

(令和3年11月11日改訂版)

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、三つの密のリスクが比較的高いと考えられるホール・練習室の利用において、全ての利用者の皆様（催物主催者・公演関係者・来場者、練習利用者）が、相互に感染回避に取り組むことが求められています。

当館でも、皆様の安全を確保しながら、文化活動の再開に寄与していくため、感染に対する最大限の対策を講じたいと存じます。

以下、感染症対策として、皆様にも留意していただきたい事項をまとめました。何卒ご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

全ての利用者の皆様に協力をお願いする〔基本的な感染防止策〕

(ワクチン接種の有無に関わらず、全ての皆様をお願いします)

・正しいマスクの常時着用

鼻にフィットさせたしっかりとした着用を徹底し、できるだけフィルター性能の高い不織布マスクを使用してください。

(着用が困難な場合、タオルやハンカチで鼻・口を覆うなど代替策を講じてください)

・入館時の手指消毒。手指の消毒や手洗いの徹底。

(破損の恐れがあるため、ピアノや貸出楽器の消毒はお控えください)

・大声を出さないこと、会話の抑制、咳エチケットの徹底

・相互の社会的距離の確保（最低1m）。

・常時換気の励行

当館は強制的な機械換気を常時行っていますが、必要に応じて窓や扉の開放等により自然換気を図ってください（楽屋・練習室は設置したCO₂（二酸化炭素）センサーの数値が1,000ppmを超えないよう換気を行ってください）。

・感染防止策をとったエリア以外での飲食の制限。食事時の対面会話や発声控え。

・厚生労働省の接触確認アプリ（COCOA）や、LINEによる「新潟県新型コロナお知らせシステム」活用の推奨。

・来館前検温を行い、発熱（37.5℃または平熱より0.5℃以上高い熱）や下記の症状等がある場合には来館を控える。

□咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、
下痢、嘔気・嘔吐

□過去2週間以内にPCR等の検査で陽性とされた者との濃厚接触がある場合

□過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合

練習利用の皆様へ協力を求める具体的な感染防止策

前記の〔基本的な感染防止策〕を踏まえるとともに、各ジャンルの統括団体等のより詳細なガイドラインも参照してください（ジャンルにより対策の必要性や水準等が異なるため）。

○マスクの着用が前提となります。できるだけ不織布マスクを使い、鼻にしっかりとフィットさせてください。

○特に飲食をする場合は、対面での会話や発声を控えてください。

○必要に応じて適宜換気を行ってください。

○飛沫が発生する合唱（カラオケを含む）や吹奏楽（管楽器）、演劇等については、以下の点に十分注意を払って実施してください（マスク着用が難しい場合は特に注意をしてください）。

- ・対面での発声や演奏は避け、原則、一列で一方向を向いて行い、やむを得ず、列を複数つくる場合には、市松模様状に編成するなど、前後の距離に注意してください。
- ・合唱（カラオケを含む）については、飛沫が飛び散る方向に2m程度、左右は1m程度を確保してください。
- ・その他演者間の対人距離は、飛沫が飛び散る方向に1.5m程度（トランペット・トロンボーンは可能な限り2m）、左右は密が発生しない程度を確保してください。
- ・指導者や指揮者は、対面する演者との距離を2m確保してください。

（当館で飛沫防止シート（高さ180cm×幅90cm）の貸し出しも行っています）

○練習の際は、参加者の氏名及び緊急連絡先を把握し、活動日ごとの出席状況を控えておいてください。感染が疑われる場合など必要に応じ、保健所等の公的機関へ情報提供等にご協力ください。また、こうした情報が提供され得ることを事前に周知してください。

○練習室は、大声での発声が伴わない利用については、会場のごまめな換気等、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、定員までの利用が可能です。一方で、条件が担保されない場合は人数を制限してください。

○大声での発声が想定される場合は、定員の50%程度まででのご利用をお願いします。

例) 合唱、カラオケなど歌唱を伴うもの。演劇、ミュージカルなど。

施設の定員と半分程度の人数（目安）

| | 定員 | 50% | | 定員 | 50% |
|------|-----|-----|-------|-----|-----|
| ホール | 530 | 265 | 練習室7 | 27 | 14 |
| 練習室1 | 100 | 50 | 練習室8 | 32 | 16 |
| 練習室2 | 40 | 20 | 練習室9 | 30 | 15 |
| 練習室3 | 40 | 20 | 練習室10 | 100 | 50 |
| 練習室4 | 36 | 18 | 練習室11 | 80 | 40 |
| 練習室5 | 24 | 12 | 練習室12 | 40 | 20 |
| 練習室6 | 24 | 12 | 練習室13 | 80 | 40 |

音楽文化会館では以下の感染防止対策を行っています。

- ①〔基本的な感染防止策〕について、事前の周知
- ②会館業務従事者に関する感染防止策の徹底
- ③接触感染防止策
 - ・不特定多数が触れやすい場所を、利用者入れ替え毎に消毒
 - ・施設の出入口と共用部分に手指消毒用の消毒液を設置
(1F・2F 入口、3F ロビー、ホール舞台袖、各楽屋、各練習室)
- ④飛沫感染防止策
 - ・マスク着用を掲示等で周知。着用していない場合には個別に注意
 - ・施設内では十分な間隔（1m）を空けた整列を促すよう掲示等
- ⑤エアロゾル（マイクロ飛沫）感染防止策…換気機能を十全に運用・発揮して感染防止を図る。各楽屋、各練習室へのCO2センサーの設置。
- ⑥対策備品の用意…必要に応じ貸し出します。事前にお申し出ください。
 - ・非接触体温計（ハンディタイプ）＊個数にはゆとりがあります。
 - ・卓上用ビニールカーテン2台（高さ81.5cm×幅91cm×奥行き（足の部分）39cm）
 - ・移動用飛沫防止シート（高さ180cm×幅90cm） ※ホールは3本まで貸出
 - ・来場者用連絡票セット2組（鉛筆、鉛筆立て、使用済み鉛筆入れ、連絡票ボックス）
 - ・来場者連絡票（主催者名を入れて作成します。）
- ⑦その他
 - ・受託チケット チケットを預かり販売する際に購入者の氏名と緊急連絡先を控える。
必要に応じ、主催者ならびに保健所等の公的機関へ情報提供と、その事前告知。
(チケット券面への記入など、公演主催者の方で連絡先の把握を行っている場合、会館では連絡先を控えません。)
- ⑧感染者が発生した場合への備え
 - ・保健所との連絡体制
 - ・体調不良者への対応を事前に検討。隔離室や備品を準備。
 - ・会館業務従事者・公演関係者への感染が疑われる場合の対応を事前に検討。

なお、本「協力のお願い」の内容は、今後の対処方針の変更のほか、新型コロナウイルスの感染の動向や専門家の知見などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものといたします。
また再度、感染の拡大などが認められた場合には、厳しい行動変容の要請などを行う場合があります。

また、本「協力のお願い」は、以下を基に作成しました。

- ・新潟市 文化芸術活動の実施に関する新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン
作成：新潟市・アーツカウンシル新潟（令和3年9月1日改訂）
- ・劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版
作成：公益社団法人全国公立文化施設協会（令和3年10月15日付）

新潟市音楽文化会館 TEL025-224-5811 onbun@niigata.email.ne.jp